

私の住まいがCO²を減らし地球を守る!

北方型住宅ZERO始動!

従来の「北方型住宅2020」の基準をベースにさらなる脱炭素化対策をプラスした『ゼロカーボン北海道』の実現に貢献する住まい「北方型住宅 ZERO」は、一般的な住宅と比べて年間で約2tのCO₂排出量削減が可能な地球環境にやさしい住宅です!

未来は
ゼロカーボン
を達成できたよ!!



ホッポZ

フタマル

エコ

ホッポ

北方型住宅



エネルギー消費量を減らし家計も守る!

北方型住宅ZERO

脱炭素化に資する対策(ポイント化して加算)

1t-CO₂/年削減 → 10pt以上で達成

再生可能エネルギーの活用

更なる断熱性能の強化
開口部の性能強化

道産木材の活用(構造材等)
木質バイオマスの活用

など

北方型住宅2020

1t-CO₂/年削減

高断熱・高气密化
高効率設備の採用
(暖冷房・給湯・換気・照明)

北方型住宅2020



環境との共生



長寿命



安心・健康



地域らしさ

外皮平均熱貫流率(UA値): 0.34W/(m²·K)以下

気密性能(C値): 実測値1.0以下

・暖房エネルギーを低減するため、断熱・気密性を確保。

一次エネルギー消費量(BEI): 0.8以下

・エネルギー消費量の少ない高効率設備等を導入。
(例:高効率な暖冷房、給湯、換気、照明設備の導入等)

北方型住宅ZERO 脱炭素化に資する対策

対策例)

ポイント
(CO₂削減効果)

・外皮平均熱貫流率UA値を0.20W/(m²·K)以下

5pt

・太陽光発電設備を屋根面と壁面に設置(合計5kW)

6pt

・太陽光発電設備と連携して、蓄電池設備を設置

5pt

・主たる構造材に道産木材を活用

2pt

・木質バイオマス(薪ストーブ等)を補助暖房に利用

1pt

脱炭素化に資する取組の詳細やポイント設定などの詳細は北海道が運営する北方型住宅などの北海道の住まいづくりに関する情報発信サイト「北方型の住まいLab」をご覧ください。北方型住宅の相談ができる事業者「きた住まいるメンバー」も紹介しています!



[お問合せ]

北海道建設部住宅局建築指導課企画係 TEL 011-204-5577



北方型の住まいLab
検索するなら「ホッポラボ」
<https://www.kita-smile.jp/>





そもそも「北方型住宅」ってどんな住宅？



- 北海道の気候・風土を熟知したプロによる地域に調和した高性能で高品質な住宅の証のことで
- 産学官の連携により北海道で30年以上培った、快適で豊かな暮らしが続く家づくりの技術の結晶
- 「北方型住宅ZERO」のベースとなる「北方型住宅2020」を形成する4つの基本性能(主な基準)と3つのしくみは下記のとおりです

4つの基本性能



長寿命

性能(特徴)

ライフステージの変化にも対応し、世代を超えて引き継がれる高い耐久性と耐用性を持つ住宅

具体的な基準・対応

- 耐震等級2以上
- 劣化対策等級3以上
- 将来の間取り変更対応(推奨)
- 維持管理等級3



安心・健康

性能(特徴)

災害に強く、誰でも安全で健康に過ごすことのできる暮らしを守る器としての住宅

具体的な基準・対応

- 地震時の倒壊を防ぎ無暖房でも一定室温を確保
- 建物内での避難経路確保
- 落下物の防止(推奨)
- ホルム対策等級3
- 全室暖房
- 適切な換気量
- 高齢者等への配慮



地域らしさ

性能(特徴)

北海道らしい景観や街並みに配慮し、地域材、地場産材を積極的に活用しながら日々の暮らしの中で地域らしさを育む住宅

具体的な基準・対応

- 地域の気候風土を活かした設計
- 道産材、地域エネルギーの活用(推奨)
- 市町村の施策に配慮(推奨)



環境との共生

性能(特徴)

寒さや雪などの気候特性に配慮しながら環境負荷を低減する持続可能な社会と暮らしを支える住宅

具体的な基準・対応

- 外皮平均熱貫流率(UA値)0.34W/(㎡・K)以下
- 気密性能(C値)実測値1.0以下
- 一次エネルギー消費量(BEI)0.8以下
- 敷地内の雪処理に配慮(推奨)
- 美しいまちなみ形成(推奨)
- 外壁後退



基本性能を支える3つのしくみ

有識者(BIS)の関与

住宅履歴の保管

住宅性能の見える化



北方型住宅ZERO



上記の「北方型住宅2020」の基準・しくみに更なる「脱炭素化対策」をプラスしたものが「北方型住宅ZERO」です！



プラスする脱炭素化対策は、次の項目のうち、一定のCO₂排出量の削減効果が見込まれ、積雪寒冷な北海道で特に効果が期待される対策を設定しています。

省エネ

効果的に住宅の消費エネルギーを削減できるもの

再エネ

再生可能エネルギーの活用、または創出したエネルギーの自家消費拡大に繋がるもの

吸収源対策

森林等の二酸化炭素吸収源の対策に繋がるもの



ホッポZ

2050年にゼロカーボン北海道を達成し、地球温暖化を防いだ美しい環境の未来からやってきたホッポの子孫。